

天野浩先生登壇 学士会新春講演会開催

NU7

National University Seven

国立七大学の総合同窓誌

2016.03 No.4

熱冬(闘)! 七大戦開幕 (冬季・春季)

講演録：ゲリラ豪雨を科学する
—世界最高性能の気象レーダ
の研究開発—

七大学・同窓会・会員活動情報

学士会



天野浩先生
登壇！

学士会主催「平成 28 年新春講演会」開催

於：学士会館



学士会主催「平成 28 年新春講演会」は、2014 年ノーベル物理学賞受賞者の天野浩先生（名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター センター長・教授）を講師にお迎えして、1月8日（金）に開催しました。

「世界を照らす LED」という演題で行われた講演会には、老若男女問わず大勢の参加者がつめかけました。講演会後に行われた懇親会でも、限られた時間の中で先生と少しでも話をしようと、多くの人々が先生を取り囲み、親交を深めました。

講演録は 7 月 1 日発行の『學士會會報』（919 号）に掲載予定です。



第55回 全国七大学総合体育大会<冬季・春季>が開幕しました

今年の七大学戦の口火を切って、アイスホッケーとスキー競技が行われました。
詳細は、「七大学情報」(9頁)をご覧ください。



第11回「北海道大学・九州大学合同活動報告会」が開催されました

1月23日に東京で開催されました。詳細は、「七大学情報」(10頁)をご覧ください。



剣道・七大学OB・OG 対抗試合がおこなわれました

当日の様子は、「同窓会案内・開催報告」(19頁)をご覧ください。



NU7

National University Seven

国立七大学の総合同窓誌

7 UNIV.

天野浩先生登壇 学士会新春講演会開催 01 冬季・春季種目 七大戦開幕!

2016.03 NO.4

7 LECTURE 第22回 関西茶話会

ゲリラ豪雨を科学する 03 —世界最高性能の気象レーダの研究開発— 牛尾知雄 (大阪大学大学院工学研究科 准教授)

7 UNIV.

七大学情報 09 七大学書籍ランキング 32

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告 19

7 MEMBERS

会員通信 24 会員著作物紹介 原稿・作品募集のご案内

7 NEWS

学士会・学士会館より 26

7 STAFFs

編集委員コラム 34

JOIN US!

学士会の紹介 表4



表紙写真…東北大学学友会写真部 小松巧

開催日 2015年10月17日(土)

会場 中央電気倶楽部(大阪市)

ゲリラ豪雨を科学する

—世界最高性能の気象レーダの研究開発—

うしお ともお
牛尾 知雄

大阪大学大学院工学研究科 准教授



● PROFILE ●

1993年大阪大学工学部電気工学科卒業、'98年同大学院工学研究科電気工学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。同年アメリカ合衆国航空宇宙局(NASA) Research Associate、2000年大阪府立大学大学院工学研究科機械系専攻航空宇宙工学分野助手、講師を経て06年より大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻情報通信工学部門助教授、'07年准教授。現在に至る。

近年増加する異常気象

神戸市に都賀川という川があります。この川は普段、幼児が遊んでいるような、非常に親しまれる川ですが、2008年7月28日、突然のゲリラ豪雨によってわずか十数分で氾濫し、4人の死者を出しました。

近年、竜巻の被害も報告されています。2012年5月にはつくば市で、2013年9月には埼玉や千葉で竜巻が発生し、家屋が損壊するなどの大きな被害が出ました。住民の話では、

「台所で食事をしていたら、突然音がした。見上げると屋根がなくなっていて、初めて竜巻と気付いた」。つまり、「何の前触れもなく突然来て、気付いた時には過ぎ去っている」「非常に局所的だが甚大な被害をもたらす」というのが、近年の豪雨や竜巻の被害の特徴です。

これらの現象は増加傾向にあり、地球温暖化の影響とされています。実際、1時間当たりの降水量が50

mm以上の発生件数を見ると、1978～2008年で増加傾向にあります。

雷、竜巻、豪雨の原因は積乱雲で

す。積乱雲の発達をいかに予測し、減災に結び付けていくか、その研究が今後ますます重要です。

現在、活躍中の大型気象レーダ

積乱雲の観測に威力を発揮するのがレーダです。電波を使って目的物を探知し、距離を測る仕組みです。

気象レーダは上空に向けて電波を照射し、降水から散乱波を受信します。標的となる雨滴は非常に小さく、ある距離だけに固定的に存在するのではなく、連続的に様々な密度で分布しています。この密度の大きさが雨の強さに対応します。

アメリカでは大型の気象レーダが国内に何十台も配置され、全米の降雨状況を10～15分おきに更新しています。このデータに基づいて竜巻予測や避難指示が出されています。

日本でも直径数m以上のパラボラアンテナを持つ大型レーダが全国に二十数台配置され、日本中の降雨状況が5分おきに更新されています。

大型レーダは、機械駆動でパラボラアンテナを上下に振り、360度回転させることで電波を送受信しています。具体的に言うと、ペンシルビームと呼ばれる幅約1度の電波をある仰角で送信し、反射波を受信しながら一回転し、仰角を変えてまた一回転、を繰り返して観測するので、全方位、全仰角（地表から天頂まで）を観測し終えるのに、5～10分かかります。

観測範囲は半径数百km以上、空間分解能は数百m。しかし、地球は丸いので、例えば250km先は3km上空を観測するだけとなり、地表付近は観測できません。しかもペンシルビームは250km先では4kmに広がるため、遠距離では分解能も劣化します。

以上から、大型レーダは前線やハリケーン、スーパーセル（超巨大積乱雲）、メソサイクロン（スーパーセル内で発生する継続的に回転する激しい上昇気流域）、スコールライン（寒冷前線に先駆けてやってくる前線）の観測には適していると言えます。

しかし、数十分程度の短時間



に被害をもたらす積乱雲、マクロバースト（突然の強い下降気流）、ヒートアイランドの探知には向いていません。

数分以内に局所的に被害をもたらす積雲、竜巻、マイクロバースト（航空機の離着陸に大きな被害）に

至っては観測できません。

積乱雲は10分間で急速に発達し、竜巻もわずか数分で発生します。これらを迅速に察知するには、1分おきに数十mの分解能で詳細に3D観測することが必要なのです。

次世代のレーダ観測網とは

そこで、近距離を3D観測する高速かつ高分解能の小型レーダを開発し、未観測域が生じないように、密に配置する観測網が求められるようになりました。この観測網をバーチャルな1台の超高性能大型レーダと見なして運用するのです。

この次世代の観測網を用いれば、小規模の竜巻やゲリラ豪雨など、今後増加が予想される現象の対策にも役立ちます。私は十数年前からこのことを訴え、次に紹介する2種類のレーダの開発しました。

①フェーズドアレイ気象レーダ

2012年、大阪大学と東芝とNICT（情報通信研究機構）は、フェーズドアレイ気象レーダ（以下、PAWR・写真1（上））の共同開発に成功しました。

PAWRは、2m×2mの板状のアンテナが首振りせず、傾きを固定したまま、地表から天頂まで全仰角を同時に観測します。さらに10～30

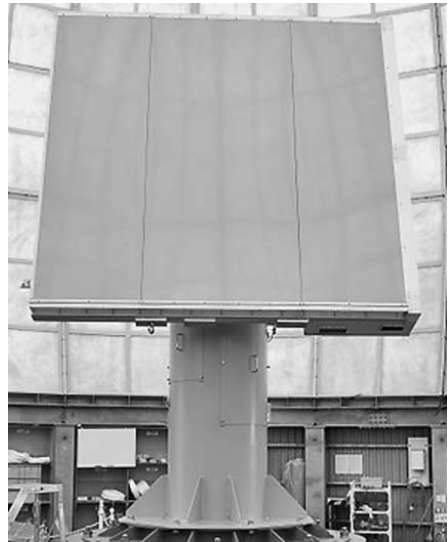


写真1 Phased Array Radar

秒かけて一回転することで、全方位を3D観測します。仰角は電子走査、方位角は機械走査ということです。

具体的には、板状のアンテナから幅の広いファンビームを送信し、返っ

てきた広範囲の反射波をデジタルビームフォーミング (DBF) という技術で複数のペンシルビームに分離して受信します。観測範囲は半径20~60 km、空間分解能は100 mです。

PAWRを従来の大型レーダと比べると、一度に観測できる仰角は10倍以上に増え、観測時間は10分の1に短縮されたので、100倍の性能向上が達成されています。

2012年5月、大阪大学吹田キャンパスの、ある建物の13階屋上にPAWRを設置しました(写真1(下))。ドームの中にアンテナが収納されています。

PAWRは大阪に加え、NICTが神戸市西区と沖縄恩納村に設置した各1台、気象庁がつくば市気象研究所に設立した1台、の計4台あります。

②広帯域レーダ

広帯域レーダ(写真2)は、竜巻や突風など、発生後すぐに甚大な被害をもたらす気象現象の観測に特化しています。機械走査で、観測範囲は15~20 km、空間分解能は10 m以下、時間分解能は1分です。これを各地に設置し、ネットワーク化することを目指しています。

2011年1月、この広帯域レーダにより、山形県庄内空港に



写真2 Broad Band Radar Network

おける竜巻・突風が観測されました。

現在、大阪・神戸には広帯域レーダが3台、PAWRが1台配置され、高速高分解レーダ観測網が築かれて

います。世界で最も進んだ気象観測地域と言えます。今後も設立台数を増やし、他のレーダとも連携させてネットワーク観測を深めていきたいです。

PAWRにより、観測精度が大幅に向上

図1(巻末カラー35頁)は2013年7月13日、大阪北部から京都にかけて降水帯が進行する様子を3Dで可視化したものです。

図2(巻末カラー35頁)は2014年9月11日、上空で積乱雲が形成され、徐々に高度が下がり、雨となって地表に落ちるまでを、30秒ごとに観測したものです。雨が降るまでの過程が実際に観測されたのは、世界で初めてと思います。

大型レーダはデータ更新が5分おきなので、ゲリラ豪雨の卵や竜巻の発生を捉えても予測に繋げることはできません。しか、30秒おきのPAWRを活用すれば、事前に住民へ注意喚起することも可能になるでしょう。

PAWRによる観測精度を広帯域レーダや大型レーダと比べると、画像は三者とも非常に似ており、地上

の雨量計とも結果がほぼ一致しましたが、分解能はPAWRが最も優れていました。

この結果を記者発表すると、多くの新聞やテレビが取り上げ、政府関係者、メーカー、国内外の大学など、千人近い方々が視察に訪れました。

平成28年度からは中学校の理科の教科書にPAWRが掲載されます。アメリカ地球物理学会誌にも写真付で紹介され、“Nature”にも記事が掲載されました。

PAWRで積乱雲を観測すると、黒い点がいくつか見られます(図3・巻末カラー35頁)。これは雷放電です。元は雷の研究者だった私は、最終的には「いつどこに雷が落ちるか」を特定したいです。積乱雲と雷の関係が解明されれば、雷が竜巻に先行する謎や豪雨の予兆と雷の関係も解明できるでしょう。

PAWRを使った社会実験

2014年、内閣府は「戦略的イノベーション創造プログラム」(SIP)を始めました。国が科学技術のイノ

ベーションに貢献する研究を応援する制度です。この中に私どもの研究(PAWRと既存レーダを併用して豪

雨や竜巻の発生を予測する技術を高度化し、避難勧告、河川管理、土砂災害予測、鉄道運行管理などに活用する研究)が選ばれました。

研究の一環として、2014年6月、大阪市福島区内でゲリラ豪雨が予測された際、注意情報をメール配信し、



予測の精度の検証を行いました。

2015年7月には研究の実証実験が始まりました。各種レーダで集めた膨大なデータをコンピュータで高速解析し、結果を大阪府の土木事務所などに設置された端末に配信します。ゲリラ豪雨が予測された場合には端末のアラームが鳴り、水害の恐れのある河川などで実際の降水量などの記録が始まり、予報の精度を検証するのです。2015年8月8日夕、実際に大阪でゲリラ豪雨が起きた際には、より早く注意・警戒アラームを通知できました。

東京オリンピックでは、研究の成果をゲリラ豪雨の短時間予報と観客の早期避難誘導という形で生かしたいです。全世界が注目しているので、日本の防災技術のインフラ輸出に繋がるかもしれません。

さらなる高性能化を目指して

雨滴は極小だとほぼ円形ですが、大きくになるに従い、落下中に空気抵抗を受けて扁平します。この雨滴の扁平率を計測すれば、正確な降雨量の推定が可能です。

しかし、PAWRは水平偏波だけを利用するレーダであるため、雨滴の扁平率の計測はできません。そこで2010年、降雨量の正確な推定のために、水平・垂直両方向の偏波を

出す二重偏波 PAWR の開発が始まりました。

もう一つ、スーパーコンピュータ「京」を用いてビッグデータを処理し、ゲリラ豪雨を予測しようという研究も始まっています。今後、データ同化という手法で、世界で最も正確に進んだ予報を実現する予定です。

七大学共通

報告

◎七大学戦開幕 アイスホッケー、スキー競技で熱冬(闘)!

<http://www.7-univ.jp/>

2015年12月5日、第55回全国七大学総合体育大会が開幕し、冬季・春季種目のアイスホッケー(12月5～11日、競技会場：東大和スケートセンター、東

競技結果

	北海道大学	東北大学	東京大学	名古屋大学	京都大学	大阪大学	九州大学
アイスホッケー	2位	5位	1位	3位	6位	7位	4位
スキー	不参加	1位	2位	3位	5位	6位	4位

2016年2月15日現在



◎北大・東北大・フィリピン政府が共同開発の超小型衛星完成

北海道大学と東北大学がフィリピン政府と共同で開発した大きさが50センチほどの「超小型衛星」が完成し、1月13日、茨城県にあるJAXA筑波宇宙センターで公開されました。フィリピンにとつ

ては初めて開発に携わった衛星で、国土の管理や災害の把握などに活用されることになっています。

この衛星は地上の3メートルの大きさのものを見分ける性能があり、観測した光を詳しく分析することで、そこにどんな植物があるのかまで調べることができ

ます。ことし3月にアメリカのロケットで、高度400キロ付近を飛行している国際宇宙ステーションまで運ばれ、早ければ4月にも日本の実験棟「きぼう」から宇宙空間に放出されて、地球を回る軌道に入る予定です。

開発費用のおよそ8億円は全額をフィリピン政府が負担し、フィリピン大学の大学院の学生ら9人が北海道大学と東北大学に留学して開発を進めてきました。

北海道大学と東北大学はフィリピンだけでなく、ベトナムやマレーシアなどアジアの8つの国に呼びかけて、合わせて50機の超小型衛星を打ち上げる構想を掲げています。

◎北大九大合同活動報告会「加速する大学院教育改革」を東京で開催

北海道大学と九州大学は毎年、東京において研究や教育に関する合同報告会を開いています。今年は1月23日(土)に第11回合同活動報告会「加速する大学院教育改革」を、北海道大学連合同窓会・東京同窓会、九州大学同窓会連合

会・東京同窓会との共催で開催しました。

まず、山口佳三・北海道大学総長と久保千春・九州大学総長が、それぞれの大学の構想に基づいて大学全体の活動を紹介。続いて、北海道大学のグローバル人材育成のための特別教育プログラム「新渡戸スクール」の紹介がありました。専門知識や技能に加えた「プラスアルファの力」をチーム学習などで育成する実践が報告され、同窓生がメンターとしてキャリア・人脈形成支援などを実施するという内容が注目されました。

九州大学からは目新しい用語を持つ決断科学センターの取り組みが紹介されました。社会的問題をよりよく解決する決断をするためには、限られた時間、大きな不確かさ、価値観の多様性という3つの困難があるなかで、正確・個性・価値観の多様性をお互いに認め合い、対立を回避することが重要であることが指摘されました。

このほか、両大学から教授法に関連して、ブレインストーミングやアクティブラーニングなどの取り組みが報告されました。



山口佳三 北大総長



久保千春 九大総長

北海道大学

告知

◎平成27年度 学士学位記授与式、修士・専門職学位・博士学位記授与式

<http://www.hokudai.ac.jp/events/20160106150213.pdf>

<http://www.hokudai.ac.jp/events/20160106152955.pdf>

■札幌キャンパス

日時 3月24日(木)

場所 北海道大学第一体育館

■函館キャンパス(水産学部)

日時 3月25日(金)
場所 ロワジールホテル函館3階「彩海」

報告

◎スーパーコケ植物を宇宙で開発～平成27年度国際宇宙ステーション「きぼう」利用フィジビリティスタディに採択～

http://www.hokudai.ac.jp/news/160107_sci_pr.pdf

北海道大学大学院理学研究院の藤田知道准教授の研究課題「宇宙におけるコケ植物の環境応答と宇宙利用(スペース・モス)」が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の『きぼう』利用フィジビリティスタディテーマ(一般募集区分)に採択されました。本提案では、「きぼう」で様々な実験処理を行った試料を地上に持ち帰り、コケ植物の生理応答の変化を調べ、安全で健康な人類の長期宇宙滞在の実現を目指します。

◎炎症反応のメカニズムを宇宙で解明～平成27年度国際宇宙ステーション「きぼう」利用フィジビリティスタディに採択～

http://www.hokudai.ac.jp/news/160107_igm_pr.pdf

北海道大学遺伝子病制御研究所の村上正晃教授の研究課題「重力刺激による脊髄背側血管への血管ゲート形成と分子発現の解析」が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)の平成27年度『きぼう』利用フィジビリティスタディテーマ(一般募集区分)に採択されました。

◎山口佳三総長が、文部科学事務次官の土屋定之氏(北海道大学OB)と対談しました。

http://www.hokudai.ac.jp/pr/publications/LitteraePopuli_Sp_Winter2015.pdf

北大広報誌『リテラポプリ』2015年冬号に掲載されています。

東 北 大 学

告 知

◎サイエンスカフェ

<http://cafe.tohoku.ac.jp/index.html>

日時 3月18日(金) 18:00～19:45

場所 せんだいメディアテーク

テーマ 火星に飛行機を飛ばす～進化する航空機の世界～

◎ジャパン・バイオデザインフェローシッププログラム2016フェロー募集のお知らせ

<http://www.bme.tohoku.ac.jp/news/>

10月よりスタートするジャパン・バイオデザインフェローシッププログラムについて、参加フェローの募集を開始します。募集の詳細については、上記URLよりご確認ください。

出願締切は4月28日(木)です。

報 告

◎仙台市地下鉄東西線の開業で通学が便利になりました

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/12/news20151207.html>

12月6日、仙台市営地下鉄「東西線」が開業しました。川内と青葉山キャンパスでは隣接して駅が設置され、天候に左右されることなく、安全かつ定時の通学・通勤が可能となりました。

◎人命救助で仙台市より工学研究科の教職員3名が感謝状の贈呈を受けました

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2015/12/news20151224-01.html>

12月22日、工学研究科機械・知能系の沖山研二技術職員、高橋聖幸学振特別

研究員、神田航希産学官連携研究員が、仙台市青葉消防署長より感謝状の贈呈を受けました。

これは11月7日に青葉山キャンパスで発生したスポーツ中の事故において、心肺停止した学生に対して、居合わせた学生・教職員が協力して対応し、応急手当にあたり救命しましたが、特にこの3名が早期に心停止を認識し対応したこと

に対する表彰です。

工学研究科では、主要な建物に23台のAEDを設置し（平成27年12月現在）、応急手当普及員の資格を持つ職員が仙台市消防署の指導・協力を得ながら、学生・教職員を対象に定期的及びイベントに合わせたAED講習会を開催しています。

東京大学

告知

◎CREST シンポジウム「トランスオミクスによる生命システムの解明」

<http://kurodalab.bi.s.u-tokyo.ac.jp/symposium2016.html>

最近のオミクス技術の発達により、にわかにトランスオミクスの解析手法が国際的にもホットな研究分野になりつつあります。そこで、国内でトランスオミクス関連の研究者の意見交換を行い、今後日本がこの分野での国際的なリーダーシップを発揮できるような先駆的なシンポジウムを開催します。今回は特に代謝を中心としたトランスオミクスについて議論します。

日時 3月3日（木）、4日（金）

会場 東大本郷キャンパス福武ホールラウンディングシアター

◎グレーター東大塾平成28年度春季受講生募集

<http://www.today-alumni.jp/program/2016/01/post-ec7d.html>

「水素社会」は低炭素社会に向けた切り札になると言われています。「水素社会」の課題について、水素製造、貯蔵・輸送、利用などの技術課題や、水素ステーションなどのインフラなどの基盤整備、さらには法令などの制度について理解を深めるとともに、「水素社会」を通じて

日本のエネルギーの未来を展望します。

塾生対象 本テーマに関連する専門領域を有する法人派遣者及び本テーマに関心の強い個人

定員 30名

参加費 20万円（税込）

出願期間 締切り日3月25日（金）（応募状況によっては締切りを早める場合があります。）

◎東京大学野球部春季キャンプ

http://www.tokyo-bbc.net/camp/16sp_camp_f.html

2016年春季福岡合宿が2/29（月）～3/7（月）、リョーユーパン野球場にて行われます。福岡の職員、ファン、OBのみなさま、ご支援、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

報告

◎東京六大学野球連盟結成90周年記念祝賀会開催

http://www.big6.gr.jp/news/20151206_90anniversaryceremony.html

12月6日、東京・グランドプリンスホテル新高輪にて、東京六大学野球連盟結成90周年記念祝賀会を開催いたしました。ご来賓の皆様、六大学の関係者の皆様、六大学野球部卒業生の皆様等、約1,500名もの方々にご出席いただきました。

◎梶田先生のノーベル物理学賞受賞 記念学術講演会を開催

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z1301_00006.html

梶田隆章先生のノーベル物理学賞受賞記念学術講演会が、1月18日19時から安田講堂にて行われました。雪で足元が悪い中、事前申込を経た教職員・学生約600人が詰めかけ、ノーベル賞受賞者の

講演をじかに聴く好機に恵まれました。

講演に先立ち、12月のノーベル賞授賞式にも参加した五神真総長が挨拶。その後、史上5人目となる東京大学特別榮譽教授の称号が、総長から梶田先生に授与されました。

〈学士会から〉

学士会でも、11月に梶田先生の講演会を予定しています。ご期待ください。

名古屋大学

告知

◎平成27年度名古屋大学卒業式のご案内

http://www.nagoya-u.ac.jp/info/27_3.html

日時 3月25日(金)

大学院 9:30~11:10

学部 11:50~13:00

場所 名古屋大学豊田講堂

◎第14回特別企画展「復興」事業を考える

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/kikaku14.pdf>

東日本大震災から5年。被災地に関するマスコミ報道は徐々に減り、復興事業の現状を知る機会は減っています。南海トラフ巨大地震が発生すれば、将来は必ず復興事業と向き合う可能性が高い……そんな思いから行う特別企画展です。

日時 (開催中) ~3月26日(土)

場所 名古屋大学減災館

◎第32回名古屋大学博物館企画展 ボタニカルアート作品展

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2015/images/160204-1.jpg>

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2015/images/160204-2.jpg>

この企画展に合わせ、特別講演会、コンサート、ギャラリートーク等、様々な関連イベントが多岐にわたって予定され

ています。詳細は上記 URL よりご確認ください。

日時 (開催中) ~4月5日(火)

お問い合わせ 名古屋大学博物館事務局

TEL 052-789-5767

◎名古屋のセンパイ！大正・昭和 編 名古屋大学全学同窓会大学支援事業②-

http://www.nagoya-u.ac.jp/event/upload_images/20160113-55.pdf

日時 (開催中) ~5月31日(火)

場所 名古屋大学附属図書館医学部分館
2階入口ホール

高橋昭氏(名古屋大学名誉教授・愛知医科大学客員教授)による「衛生の道を拓き 雄大な先駆的視野に立って辣腕をふるった 愛知医学校長 後藤新平」と題した特別講演も行われます。

特別講演会は3月15日(火)14:00~15:30、名古屋大学医学部基礎研究棟1階会議室2で開催します。

◎野外観察園セミナーハウス サテライト展示『名大の蛾 II. 春~夏の蛾』

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/special/2016/160425.html>

日時 4月25日(月)~7月29日(金)

場所 名古屋大学博物館野外観察セミナーハウス2F

告知

◎京都大学基金「ご卒業・修了記念キャンペーン」の実施について

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/160430_1.html

京都大学基金では、ご卒業・修了のシーズにあわせて、寄附をいただいた方を対象にキャンペーンを実施しています。

ご卒業・修了の記念にぜひお申し込みください。

期間 4月30日(土)まで

お問い合わせ 京都大学基金事務局

TEL 075-753-2210

◎第11回京都大学附置研究所・センターシンポジウム

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/virus/events/2015/160312_1120.html

今回のサブテーマは「翔ぶ京大」。オーロラ、砂漠、福島、iPS細胞、古文書、そしてアマゾン研究などの各演題について、それぞれ専門家が講演を行います。

日時 3月12日(土)

場所 品川インターシティホール

お問い合わせ 京都大学ウイルス研究所総務掛

報告

◎平成27年度「京都大学体育会スポーツ表彰」授与式を挙行了しました。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/events_news/office/kyoiku-suishin-gakuseishien/kosei/news/2015/151212_1.html

12月12日、「京都大学体育会スポーツ表彰」授与式が挙行されました。

このスポーツ表彰は、京都大学体育会規約にある「本会は、京都大学における体育の向上、運動の普及を図り、あわせて本学学生の心身の錬磨、品性の陶冶に資し、もって学徳兼備にして有為の人材

を作ることを目的とする」という理念を実践し、それにふさわしい貢献をした部員を表彰するものとして、平成19年度に設立されました。

優秀な成績を残した選手はもちろんのこと、大学から新しいスポーツを始め、実力を大きく向上させた選手、裏方として部を支えた選手・マネージャーも対象としています。

今回は体育会会長賞10名、優秀賞5名の計15名に小田滋晃体育会会長より表彰状を授与しました。

◎諸熊奎治福井謙一記念研究センターシニアリサーチフェローが日本学士院会員に選ばれました。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/events_news/office/kikaku-joho/koho/news/2015/151214_1.html

12月14日、日本学士院会員に諸熊奎治・福井謙一記念研究センターシニアリサーチフェローが選ばれました。

日本学士院は、学術上功績顕著な科学者を優遇するための機関として、学術の発達に寄与するため必要な事業を行うことを目的としています。

◎オーロラ爆発はなぜ起こるのか？

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research>

みなさんは、オーロラ爆発をご存じでしょうか。

12月21日、アメリカの専門誌「ジャーナル・オブ・ジオフィジカルリサーチ」誌の電子版が、海老原祐輔生存圏研究所准教授と田中高史九州大学名誉教授らの研究グループの、オーロラが急激に明るく光り出す「オーロラ爆発」のスーパーコンピュータでの再現を公開しました。

この現象は北極・南極で見られるオーロラの中でも、急激に明るく光り出すオーロラで、まれにしか見ることができな

いとされており、その詳しい発生のメカニズムは長年の謎とされてきました。

美しいオーロラ爆発の全容解明に向けて大きなブレイクスルーになるものと思われまます。

◎講演会および施設公開「スーチーさんと京都」を開催しました。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/events_news/department/se_asia/news/2015/151218_1.html

12月18日、東南アジア研究所において、京都大学 ASEAN ウィークの一環として「スーチーさんと京都」と題する、一般市民を対象としたイベントを開催しました。

アウンサンスーチー女史一家と40年来の交流があり、「アウンサンスーチーへの手紙」の著作がある津典子さんと、中西嘉宏東南アジア研究所准教授による講演・座談会「スーチーさんと『ビルマ』の今」を開催しました。ミャンマー

政治研究の専門家である中西准教授による同国の現状解説の後、大津さんからは若き日のスーチー女史や家族のこと、内面を窺い知ることのできるエピソードなど、親しい友人ならではの貴重な話がありました。

講演・座談会終了後には「アウンサンスーチー・ルーム+東南アジア研究所図書室見学会」を行いました。「アウンサンスーチー・ルーム」は、スーチー女史が東南アジア研究所に1985年10月から9ヶ月間、客員研究員として滞在したときに使用した研究室です。1992年に開設され、女史のノーベル賞受賞を讃えるとともに、当時軍政下において軟禁状態にあった女史の早期解放を願って、女史ゆかりの品や関連資料などを保管しています。参加者は、アウンサンスーチー・ルームおよび東南アジア研究所図書室に展示されているスーチー女史の著作や関連図書、ノーベル賞関連資料、京都時代の写真などを閲覧しました。

大阪大学

告知

◎退職教授による記念講義（最終講義等）のご案内

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/event/2016/01/0107_01

3月31日限りで定年等で退職される教授の記念講義（最終講義等）を、日程等が決まったものについて、お知らせします。上記URLをご参照ください。

◎「水の都・大阪の水はきれい？汚い？～川、港そして海」（21世紀 懐徳堂 i-spot 講座）

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/03/6821>

大阪市と大阪大学が共同で市民のみなさまに提供する公開講座です。今期は「水の都の物語」と「都市大阪、今昔」

の2シリーズ。受講料は無料です。お気軽にご参加ください！

日時 3月3日（木）18:30～20:00

会場 大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」

受講料 無料（要事前申込）

定員 30名（先着順、2月3日より受付中）

◎Handai-Asahi 中之島塾

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/handai-asahi>

「Handai-Asahi 中之島塾」は、2004年に大阪大学中之島センターが中之島の地に誕生したのを機に設けられた、朝日カルチャーセンターと大阪大学との共同講座です。朝日カルチャーセンターによる運営で、大阪大学が取り組んでいる研究の成果をわかりやすく紹介します。文

化、歴史、芸術、理学、工学、医療など大阪大学が有している様々な分野の研究者が担当、時には旬の話題のテーマなども取り上げます。3ヶ月ごとにテーマと講師を選定し、受講生を募集しております。

講座内容や申込先は前記 URL からご参照ください。

報 告

◎平成 27 年度阪大向上アイデア賞が決定しました

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/12/20151208_02

12月1日に阪大向上アイデア賞の表彰式が行われ、大木高仁理事から提案者に対して賞状が授与されました。

大阪大学では、事務改革への参画意識を高めるとともに、本学における事務業務等に関する質、処理速度の向上を図ることを目的として阪大教職員から向上提案を募集しています。

優れた提案については阪大向上アイデア賞を授与することとしており、今年度は7件が表彰されました。表彰された提案は、独自の視点から大阪大学を見つめ、いずれも阪大の力を向上させたいという意欲に溢れた提案でした。

表彰式後に大木理事から、大学にとって有意義な提案があったことの謝辞と、これからも大阪大学に貢献してほしいとの激励の言葉がありました。

採用提案等詳しい内容については、上記 URL をご覧下さい。

◎UC/UCEAP 大阪オフィス開設 1 周年記念国際シンポジウム開催

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/12/20151221_01

12月11日、大阪大学銀杏会館阪急電鉄・三和銀行ホールにおいて、UC/UCEAP 大阪オフィス開設 1 周年記念国際シンポジウム「キャリア形成とグロー

バル化」を開催しました。

カリフォルニア大学アーバイン校より、キャリアセンター長の Suzanne Helbig 氏をお招きし、前半は Helbig 氏の基調講演、後半は Helbig 氏を含めて4名のパネリストを交えたパネルディスカッションという2部形式で行いました。

前半の基調講演では UCI のキャリアサポートサービスについてお話いただきました。また、大学院生に特化したサービスについての紹介、産業界が好むようにアカデミックスキルを表現することの大切さや、インターンシップの重要性などについてお話いただきました。

後半は、パネリストの先生方にご自身のキャリアについてお話いただいた後、UCI のキャリア教育は日本の大学でも導入し得るのか、UC と阪大がグローバル人材育成の観点で協力できることなどをテーマに、登壇者それぞれ異なる立場から活発に議論され、教職員や学生からの質疑応答も含め、内容の濃い非常に充実したシンポジウムとなりました。

◎「第 22 回大阪大学未来トーク」を開催しました

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/01/06_01

12月22日、最先端医療イノベーションセンター・マルチメディアホールにおいて「第 22 回大阪大学未来トーク」を開催しました。

今回は、国際医工情報センターの八木雅和特任准教授が、イノベーションとは何か、ヘルスケア・医療機器分野におけるイノベーションの継続的な実現のためのヒントについて講演しました。

八木特任准教授は、医療技術開発に関する世界最先端の人材育成プログラム「スタンフォード・バイオデザインプログラム」のグローバルファカルティ研修修了生第 1 号で、今秋スタートした「ジャパン・バイオデザインプログラム」の

中心メンバーという経験をいかし、バイオデザインプログラムのメソッドをベースに、ブレインストーミングやプロトタイプイングの重要性、イノベーションの鍵となる発想の仕方などについての話がありました。

医療分野の学生だけでなく社会人や高校生も参加し、会場は満席となりました。

パワフルでスピード感とユーモアに溢れた八木先生のトークは、さながら『白熱教室@大阪大学未来トーク』となり、熱心な学生たちとの質疑応答は、講演会終了後も続きました。

九州大学

報告

◎第58次南極地域観測隊長（兼夏隊長）に九大の教員が決定！

九州大学大学院比較社会文化研究院の小山内康人教授が第58次南極地域観測隊長（兼夏隊長）に決定しました。小山内教授の南極歴は、これまで第28次、第31次、第39次、第49次と4回を数え、第49次では観測隊副隊長も務めています。この度の隊長就任は、九州大学からの南極地域観測隊長としては初めてとなります。

11月19日に開催された定例記者懇談会で小山内教授は、「専門の研究に集中する隊員とは違い、隊長は隊全体を統括する役を担うもので、大きな責任を感じている。また、第58次南極地域観測隊は南極地域観測の次期6か年計画の初年度にあたり、計画の成功に向け良いスタートを切れるよう十分に準備をし、第58次隊が成功するようサポートしたい」と意気込みを語りました。

第58次隊は、今後1年をかけて隊員の選考や訓練、物資の準備等を行い、11月末頃南極に向け出発します。

◎トムソン・ロイターの Highly Cited Researchers に 11 名が選ばれました

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/01/19_01

Highly Cited Researchers は、トムソン・ロイター社が、世界中で引用された回数の多い論文の著者を研究分野ごとに選出したものです。2015年は、21分野で約3,000名の研究者が、世界的に最も影響のある研究を行っている研究者としてリストアップされています。

大阪大学からは、5分野で11名（12件）が選ばれました。

◎アジア初！「113番元素」の命名優先権が日本へ！～理学研究院 森田浩介教授～

<http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/>

12月31日、国際純正・応用化学連合（IUPAC）より通知があり、日本に「113番元素」の命名優先権が与えられることが確定しました。「113番元素」は、大学院理学研究院物理学部門教授兼国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センターグループディレクターである森田浩介教授が国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センターで長年実験してきた成果です。

※『學士會會報』（第905号2014年3月発行）にも「113番新元素の探索」というタイトルで、森田浩介先生よりご寄稿頂いています。ご購入希望の方は学士会事務局まで。

◎インドネシア九州大学留学生 OBOG 会がシンポジウムを開催

<http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/>

1月5日、インドネシア九州大学留学生 OBOG 会は、インドネシア・ジャカ

ルタにて、シンポジウムを開催し、留学経験者 100 名が参加しました。

開会に際して、日本から駆けつけた久保千春総長より「想像を上回る大イベントで驚きました。一緒に楽しみましょう」と挨拶がありました。続いて芝田理事・事務局長は「同窓生としての絆を大事にしてほしい。ぜひとも積極的に九大の活動に参加を」と呼びかけました。

シンポジウムに続いて開催された懇親会には、在インドネシアの OBOG 20 名が参加し、学生歌「松原に」を高らかに歌い上げた後、世代・国籍を超えて学生時代を懐かしみつつ語りました。

九大へのインドネシア人留学生は毎年 100 名を超え、日本の国立大学の中では突出しています。国別では、隣国の中国・韓国に次いでインドネシアが第 3 位であり、本学とインドネシア双方にとってプレゼンスが大きいといえます。

留学後、母国に戻った OBOG は幅広い分野で活躍しており、なかでも、科学技術庁で長官を務めるウングール氏や、南スラウェシ州のバンティアン県知事のヌルディンアブデュル氏は、政財界の第一線で活躍しています。

インドネシア九州大学留学生 OBOG 会長のスンボコ氏は、「今後もこのような交流を深めて、日本とインドネシアの両国の発展につなげていきたい」と述べました。

◎第 7 回外国語プレゼンテーション・コンテストを開催

<http://www.kyushu-u.ac.jp/topics/>

1 月 9 日、今年で 7 回目となる外国語プレゼンテーション・コンテストが、伊都キャンパスで開催され、1、2 年生を中心に 56 名の学生が英語・独語・仏語・西語・露語・中国語・韓国語・日本語に分かれて、この日に向けた練習の成果を披露しました。

プレゼンテーション部門では、主張す

る内容はもちろん、表現の技術にも工夫を凝らした発表が数多く見られました。初修外国語に設けられている暗誦部門では、各言語の名文を美しく、聴衆の心に響くように朗読する声が聞かれました。

各言語・部門で最優秀賞と優秀賞が決定しましたが、参加した学生全員がこの 1～2 か月間の練習を通して、外国語による発表に対して自信をつけただけでなく、精神的にも一回り大きく成長したようです。教員側にも指導のノウハウが蓄積され、今後益々の指導力の向上が期待されます。

今年はコンテスト後の企画として、外部の大会で入賞した 2 名によるゲスト・スピーチと、スカイプを利用した海外留学中の九大生 2 名による留学生活の紹介が行われました。

このような新たな取組を通して、学外コンテストへの参加や海外留学を身近に感じ、積極的に参加を検討する学生が増えることを期待しています。

◎九州大学基金【ハートンホテル、大和リゾート株式会社】九大会員の特典を更新しました

<http://www.kyushu-u.ac.jp/k-kikin/news/>

「九大会員」は、クレジットカード決済により、年額 1,000 円以上を継続的にご寄附くださる方及び、所定の額（1 万円以上）をご寄附いただいた方に対する会員制度です。

九州大学は、社会のみならずよりよいネットワークを築き、社会とともに発展する大学をめざします。

九大会員では、皆様に喜んでいただける特典の充実にも努めています。ご入会いただき、九大を応援していただけないか？

このたび、九大会員の特典として、「ハートンホテル」様及び「大和リゾート株式会社」様より特典をご提供いただきましたので、上記 URL よりご確認ください。

同窓会案内・開催報告

七大学共通

報告

◎第 11 回国立七大学 OB・OG 対抗試合、大接戦の末に紅組（東北大、名古屋大、京都大、大阪大）が勝利

2015 年 11 月 23 日、三菱武道場「思斉館」において、毎年恒例の国立七大学 OB・OG 剣道対抗試合が東京大学の主管により開催された。

本対抗戦は、国立七大学（旧七帝国大学）の OB・OG が 2 チームに分かれて試合を行なう紅白戦で、今回は平成 27 年 7 月に開催された現投学生の七大戰（七帝戦）剣道戦男子の試合結果を参考にし、「紅組」を東北大・名大・京大・阪大、「白組」を北大・東大・九大として 3 分三本勝負、女子 4 人戦、男子 30 人戦で技を競い合った。

女子戦・男子戦とも、先鋒から大将まで双方とも思い切った技が繰り出され、見応えある試合ばかり。総合成績は、紅組 13 勝、白組 11 勝となり、紅組が勝利したが、好勝負の連続に会場は大変な盛り上がりを見せた。

試合終了後の合同稽古会でさらに汗を流し、その後の懇親会では 80 人を超える参加者が親睦を深め合うことで、剣道の錬成と国立七大学 OB・OG の親睦という両目的を十分に果たす、内容の濃い対抗戦となった。

来年は名古屋大学を主管として開催される予定である。

◎七大学若手会第 1 回クリパ開催

<http://gakushikai.web.fc2.com>

12 月 19 日築地の料理教室にて七大学若手会第 1 回聖誕派對（クリパ）が開催されました。急な開催決定にも拘らず、11 名の幹事を中心に、合計 37 名（男 18 名、女 19 名）の参加となりました。

参加者が男女同数の 4 チームに別れ、①「料理の美味しさ」、②「協力性」、③「クリスマスらしさ」、④「活気溢れる」等の分野で腕を競っていました。優勝チームには表彰状が授与されました。

最後にプレゼント交換をおこない、2 次会では夜景が綺麗な汐留で遅くまで盛り上がりました。

北海道大学

告知

◎一般社団法人札幌農学同窓会、北海道大学医学部同窓会より、「『さとぼろ』とその時代」展のご案内

http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/knb/exhibition/cl_20151209satoporo.htm

北海道立近代美術館では、昨年 12 月 19

日から、「『さとぼろ』とその時代」展を開催しております（3 月 21 日まで）。『さとぼろ』とは、1925 年に北海道帝国大学の学生と教官が創刊した芸術雑誌で、文字、美術、音楽、演劇、建築など、様々な芸術の最新の動向を取り上げて、美術史上、文学史上、高く評価されております。

『さとぼろ』は医学部学生会誌『フラテ』

創刊時のメンバーとしても知られる故・服部光平先生(1期)、故・相川正義(2期)先生方、そして1928年農学科卒業の伊藤義輝氏、1929年農業生物学科卒業の伊藤秀五郎氏らが中心となって創刊しました。本展では、ご先生方の業績につきましても、紹介されております。

報告

◎北海道大学医学部同窓会より、平成27年度フラテ研究奨励賞受賞者に次の5名が選ばれました。

新宮康栄先生(77期)、加藤 将先生(79期)、川堀真人先生(79期)、真鍋 治先生(80期)、渡部 昌先生(84期)

東北大学

報告

◎2015年12月東北大学基金グローバル萩海外留学奨励賞授与式を開催しました。

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/office/news.html#news_201512_03

12月14日、東北大学附属図書館本館1号館1階フレキシブルワークエリアにおいて、「東北大学基金グローバル萩海外留学奨

励賞授与式」を開催しました。今年度第2回目となる本授与式では5名の学生に奨励賞が授与されました。

◎東北大学山形県全学同窓会総会が開催されました

11月23日、山形国際ホテルを会場に第11回東北大学山形県全学同窓会総会が開催されました。

本学からは、里見進総長、青木孝文副学長、吉澤誠教授が出席し、講演会や懇親会等を通じて、親睦を深めました。

東京大学

告知

◎東京銀杏会第21回トップフォーラム

<http://tokyo-ichokai.com/information/7679>

【テーマ】「中国の行方(ゆくえ)と東アジアの安全保障」

【日時】3月5日(土)13時30分から

【場所】東大本郷キャンパス理学部小柴ホール

◎東京銀杏会留学生と交流する会

<http://tokyo-ichokai.com/information/7728>

【日時】3月19日(土)

【場所】キリンビール工場見学

◎滋賀銀杏会 オペラ『フィガロの結婚』鑑賞と食事会

http://www.geocities.jp/shiga_ichokai/

【日時】3月27日(日)14時開演

【場所】滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール中ホール

【会費】一人あたり1万円程度

◎関西東大会(ゴルフ同好会)

<http://blog.kansaitodaikai.main.jp/?cid=18410>

【日時】4月23日(土)

【場所】芦屋カンツリー倶楽部

【会費】5,000円(賞品代、会食費)

※プレー代、昼食代等は各自負担

名古屋大学

告知

◎共晶会関西支部 総会・講演会・懇親会
<http://www.numse.nagoya-u.ac.jp/kyosho/index.html>

【日 時】 3月12日(土)11:00~14:00
【場 所】 阪急ターミナルスクエア・17

◎恩師謝恩会&キタン会入会歓迎
http://www.kitankai.net/modules/pico1/index.php?content_id=17

【日 時】 3月25日(金)16:00~
【場 所】 メルパルク NAGOYA
【会 費】 10,000円(キタン会初年度年会費を含む)

◎名古屋大学遠州会 第11回総会&第21回同窓会
<http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/#e1121>

京都大学

告知

◎「第11回京都大学ホームカミングデイ」開催日決定のお知らせ
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/151113_1.html

次回京都大学ホームカミングデイが、2016年11月5日に開催に決まりました。

◎「京都大学学生チャレンジコンテスト(SPEC)2015」採択プランへの寄附のお願いについて
http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/160120_1.html

本学では現在、新たな学生支援事業として「京都大学学生チャレンジコンテスト2015」(SPEC- Student Projects for Enhancing Creativity)を実施しています。

これらのプランには、京都大学基金が

【日 時】 6月18日(土)18:00~
【場 所】 オークラクトシティホテル浜松

報告

◎名古屋大学全学同窓会関東支部「天野先生ノーベル物理学賞受賞記念講演・交流会」が開催されました

1月31日、名古屋大学関東支部による記念講演会・交流会が学士会館にて盛大に開催されました。名古屋大学において6人目のノーベル賞受賞者となった天野浩氏による講演会では、いかに自分が大学や先生方に恵まれ、豊かな心で研究が続けられたか、溢れる感謝の気持ちが印象的でした。交流会では旧友との再会を大いに楽しみ、会話に花を咲かせていました。

「クラウドファンディング」の仕組みを活用して、皆さまから寄附を募り、学生に助成金として支給します。SPEC専用ページで、学生のプログラムを確認いただき、応援したい学生(団体)へ寄附をお願いします。

学生たちのチャレンジを、ぜひサポートしてください。

【募集期間】 1月20日(水)~3月15日(火)

報告

◎京都大学地域講演会(徳島講演会)および京都大学徳島同窓会を開催しました。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/151219_1.html

12月19日、徳島市のあわぎんホール徳島県郷土文化会館において、内田由紀子こころの未来研究センター特定准教授が「地域の幸福と健康を考える：社会心理学から

のアプローチ」と題した講演を行い、講演の後には同じテーマで山極壽一総長と内田特定准教授による対談を行いました。講演会には定員を大幅に上回る263名が参加し、徳島県内の地域の例や研究データを示しながら地域・組織の集団的な幸福の重要性について語る内田特定准教授の講演に熱心に聴き入り、講演後の対談でも活発な議論が展開され幸福について理解を深める機会となりました。

また、講演会終了後、同市内のホテルにおいて平成27年度京都大学徳島同窓会が開催されました。46名の同窓生の参加があり、本学からは山極総長、稲葉カヨ理事・副学長および大学関係者が出席しました。

◎大阪京大クラブ平成28年新年祝賀会が開催されました。

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2015/160108_1.html

大阪大学

告知

◎外語マガジン『sakuya』

<http://sakuyakai.net/magazine/>

Szia! ようこそ外語マガジン sakuya へ。

「卒業した外国語学部生は、今何をしているのだろう?」という問いをテーマに、毎月ひとり、卒業生をのお話を紹介していきます。

報告

◎「大阪大学の集い(東京)」に過去最多の約550名が参加

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2015/12/07_02

12月5日、「大阪大学の集い」を東京・神田の学士会館で開き、おもに関東方面在住の大阪大学・大阪外国語大学の卒業生、大学関係者ら「阪大ファミリー」約550名が集いました。卒業生向けイベントでは、過去最多の参加者数です。

1月8日、大阪中央電気倶楽部において、大阪京大クラブ平成28年新年祝賀会が開催されました。

大阪京大クラブは、関西在住の本学卒業生・修了生を会員とし、現在、会員数は約260名です。毎年1月の新年祝賀会をはじめ奇数月に例会を開催し、会食等を通じて会員の親睦を図るとともに、本学の現役の教員の講演により最先端の研究に触れる機会とされています。

2016年の新年祝賀会は、63名の会員が出席し、安達篤夫総務委員長(法学部・1960年卒)の司会により、高月清会長(医学部・1954年卒)、井村裕夫元総長、山極壽一総長そして徳賀芳弘副学長の挨拶がありました。続いて、2016年4月に京都大学霊長類研究所を施設見学する旨の報告があり、その後、新入会者の紹介がありました。

第1部のセレモニー・講演会では、西尾章治郎総長が大学の近況報告を行い、熊谷信昭大阪大学同窓会連合会会長(元総長)からのあいさつ、部局同窓会関東・東京支部を代表して池田博昌大阪大学工業会東京支部長からの活動報告がありました。

続いて、石黒浩特別教授(基礎工学研究科)が、「ロボットと未来社会」と題して講演。最新の研究成果から人間の未来形までエキサイティングな話に、満席の参加者は熱心に聴き入りました。

第2部の懇談会は、法学部同窓会青雲会の西畑一哉東京支部長の乾杯の発声でスタート。今回は、卒業・修了から15~17年にあたる卒業生に特に案内し、久しぶりの再会を喜び合う姿など、会場いっばいに歓談の輪が広がりました。

大阪大学国際同窓会のヴィジタ・ラナトゥンガ会長(2007年情報科学研究科修了)の活動報告や、大阪大学応援団の現役・

OBOG 団員による演舞・歌唱のほか、サブライズとして、石黒教授が考案したクッション型メディア「ハグビー」があたる抽選も実施。総合司会を務めた久野愛さん(2015年経済学研究科修了)の楽しい仕切りで、大いに盛り上がりました。

多数のご来場、誠にありがとうございました。「大阪大学の集い(東京)」は2016

年も開催する予定です。また、5月には豊中キャンパスで「ホームカミングデイ」、8月には「大阪大学の集い(岡山)」として、初めて大阪・東京以外での「集い」を行います。詳細は本ホームページでお知らせしますので、今後も各地のイベントへのご参加をお待ちしています。

九州大学

告知

◎地域講演会「九州講演会」

<http://www.gakushikai.or.jp/>

<http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/news/detail/48>

一般社団法人学士会・一般社団法人九州学士会主催、九州大学、九州大学同窓会連合会、西日本新聞社、NHK福岡放送局後援「シーボルトの藤の木～長崎からの“洋学事始”」(講師・久保正彰学士会理事長)と題した講演会を開催いたします。

【日時】 3月12日(土) 14:00～
講演会 / 15:30～懇親会

【場所】 九州大学西新プラザ

◎平成28年関西親和会総会

https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/185/association_events/detail/247

【日時】 4月9日(土) 15:30～20:00

【場所】 大阪コロナホテル

案内状は関西地区在住者を中心に送付しますが、その他の地域の方々のご参加を歓迎します。

連絡先をお知りになりたい方は親和会事務局までお問い合わせください。

◎九州大学親和会

第37回総会及び講演会

https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/185/association_events/detail/248

【日時】 4月23日(土) 13:00

【場所】 福岡市産学連携交流センター交流ホール(予定) ※懇親会予定有

◎九大医学部46会 同窓会を開催

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/152/association_news/detail/484

《懇親会》

【日時】 5月7日(土) 15:00頃より

【会場】 九大医学部百年講堂、中講堂1、2
《ゴルフ会》

【日時】 5月8日(日) ※懇親会翌日

【会場】 未定

◎S41 応化同期会～卒業50周年にあたり来年同期会を開催～

https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/194/association_events/detail/176

平成28年は、応用化学卒業50周年にあたり「卒業50周年記念行事九大訪問・見学」を開催します。

【日時】 5月17日～19日(2泊3日)

報告

◎國武豊喜先生 京都賞受賞

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/185/association_news/detail/518

http://www.inamori-f.or.jp/ja_kp_lau_thi.html

11月10日、國武豊喜先生が第31回京都市賞を受賞されました。

九州大学にとっても大変な榮譽であり、心よりお慶び申し上げます。

『九大広報』Vol.101(2016年1月号)のインタビューシリーズ《九大人》は國武豊喜先生でした。ぜひ、ご覧ください。

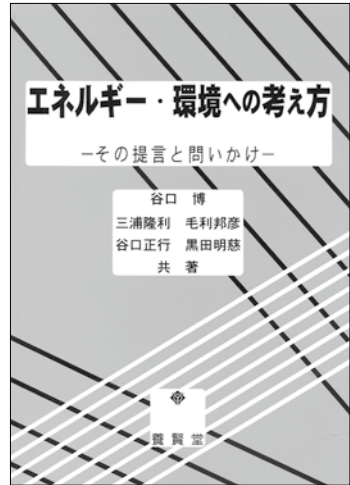
会員通信

会員著作物紹介

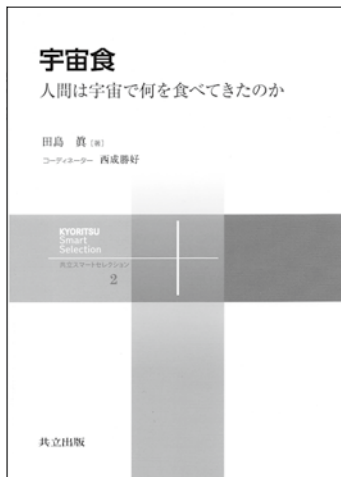
エネルギー・環境への考え方（養賢堂）

エネルギー利用と地球環境への正しい知識を得るための考え方を示し、その内容に興味を持って頂けるよう考慮しております。従って、基礎となるエネルギーと環境に関連する事項を紹介し、とかく誤解され易い地球温暖化や自然エネルギーに関連する課題を含めることにしました。また、従来の環境に関する考え方に室内環境への対応が欠けていることを指摘して、生活の場としての室内環境の重要性も理解して頂ければと思っております。

（谷口博 会員 北大・工博・工・昭28）



宇宙食—人間は宇宙で何を食べてきたのか（共立出版）



宇宙食というと、チューブや、錠剤・カプセルを連想する方が多いでしょう。初めての宇宙食がこういった形態だったので、その印象が強く、今でも宇宙食というところといったものをイメージするのです。現実には、“ほとんど”地上と同じものを食べています。ほとんどといったのは、それでも宇宙食は、地上食には無い制限があります。本書は、日本人宇宙飛行士のために JAXA で宇宙日本食を開発してきた著者の宇宙食の解説本です。

（田島眞 会員 東大・農・昭41）

会員の声・会員活動 原稿募集のご案内

●「会員通信」の投稿原稿を募集しております

「会員の声」を募集しています。今回のテーマは、“(日本各地)、私のオススメ”です。「東北、私のオススメ」、「仙台、私のオススメ」といったように、地域・都道府県・都市を問いません。7月号掲載分の締め切りは4月30日です。800字(写真掲載希望の場合650字)以内にまとめて、メールでお送りください。

「会員活動報告」として会員同士の交流やイベントの報告をお寄せ下さい。200字程度、写真データ(jpeg等)は2枚まででお願いします(都合により、掲載写真は1枚となる可能性もあります)。

「会員著作物紹介」では、ご自身の著作物をご紹介いただけます。著作名・著作者・紹介文(200字以内)・著作物表紙写真をデータ(jpeg等)でお送りください。※一般販売しているものに限定

「会員ギャラリー」では、写真の他、絵画・生け花・陶器などの作品も写真でご紹介いただけます。

=====

- ・政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がありますのでご了承ください。
- ・英文での投稿も可能です。
- ・投稿にあたっては、氏名・会員番号を明記の上、Eメールで下記アドレスまでお送りください。
- ・投稿の受信確認及び掲載可否の連絡はいたしません。
- ・掲載原稿・作品は事務局で選定されたものとなり、選考に関する質問にはお答えできません。
- ・作品(データを含む)は原則として返却いたしません。なお、お送りいただきました内容は学生会交流サイト「謝恩の情」(<http://www.gakushikai-salon.jp/>)にも掲載させていただきます。

送付先・お問い合わせ先：nuseven@gakushikai.or.jp

告知

学士会主催



夕食会・午餐会 (2016年
3月～5月)

[場所] 学士会館

[参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

3月10日(木) 濱田 純一氏 (放送倫理・番組向上機構 (BPO) 理事長/前東京大学総長)

「メディアと政治の間」

1972年東京大学法学部卒業。1992年東京大学新聞研究所、及び社会情報研究所教授。その後、国立大学法人東京大学理事・副学長を経て、2009年国立大学法人東京大学総長。2015年より現職。

4月8日(金) 柳澤 勝彦氏 (国立長寿医療研究センター研究所長・

認知症先進医療開発センター長)

「認知症最新研究～治療法と予防戦略」

1980年新潟大学医学部医学科卒業。国立中部病院長寿医療研究センター部長や信州大学大学院医学研究科教授を経て、2010年国立長寿医療研究センター研究所副所長兼認知症先進医療開発センター長。2015年より現職。

5月休会です。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演)

※従来、食事会場と講演会場を別々に設置しておりましたが、2月午餐会より食事・講演とも同一会場(210号室)にて開催しております。

3月22日(火) 川村 隆氏 (株式会社日立製作所相談役)

「グローバルに通用する企業統治のあり方」

1962年東京大学工学部電気工学科卒業。株式会社日立製作所に入社、常務取締役電力事業本部長や代表取締役 取締役副社長を歴任し、2003年日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社取締役会長兼代表執行役。2009年株式会社日立製作所代表執行役 執行役会長兼執行役社長。その後、代表執行役 執行役会長兼取締役を経て2014年より現職。

4月20日(水) 千田 嘉博氏 (学校法人奈良大学学長)

「『真田丸』の謎～信繁は名将か愚将か」

1986年奈良大学文学部文化財学科卒業。名古屋市見晴台考古資料館学芸員や国立歴史民俗博物館考古研究部助教授等を経て、2009年奈良大学文学部文化財学科教授。2014年より現職。

5月20日(金) 久保 正彰氏 (東京大学名誉教授/前日本学士院長/学士会理事長)

学士会創立130周年記念講演「(演題は未定です)」

1953年ハーバード大学卒業(古典語学・古代インド語学専攻)。1957年東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了。東京大学文学部教授、文学部長等を経て1991年東京大学名誉教授。1992年東北芸術工科大学初代学長。2007年日本学士院長。2014年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00) MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会・九州学士会主催



九州講演会

14:00～講演会
15:30～懇親会

[場 所]九州大学 西新プラザ
[参加費] 3,000円 (講演会のみ無料)

2016年3月12日(土) 久保 正彰氏 (東京大学名誉教授 / 前日本学士院長 / 学士会理事長)

「シーボルトの藤の木～長崎からの“洋学事始”～」

講師略歴は、「夕食会・午餐会(2016年3月～5月)」内の5月午餐会欄をご参照ください。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: area@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



第24回関西茶話会

14:30～講演
15:30～懇親会(立食)

[場 所]中央電気倶楽部
[参加費] 3,000円

2016年4月16日(土) 北川 央氏 (大阪城天守閣館長)

「真田幸村と大坂の陣 — 智将幸村の生き方・戦い方 —」

1961年大阪府生まれ。神戸大学大学院文学研究科修了。1987年大阪城天守閣学芸員となり、主任学芸員・研究主幹などを経て、2014年より現職。著書に『大阪城ふしぎ発見ウォーク』など多数。

詳細は、学士会公式サイトまたは関西事務所まで。

TEL: 075-771-1191 (土日祝月除く10:00～16:00)

MAIL: kansai-info@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



土曜カフェ

15:00～

[場 所]学士会館
[参加費] 1,000円

3月26日(土) / 4月23日(土) / 5月28日(土)

毎月最終土曜日に35才までの会員を対象・少人数での“ハナシバ”土曜カフェを開催中です。読書会も行っています。※5月の日程は、変更になる場合がございます。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

話し合いたいテーマも大募集中!

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyou@gakushikai.or.jp



告知 学士会・学士会館共催



「親から始める子どものための良縁講座」

14:00～

[場 所]
学士会館

2016年4月16日(土)

学士会と学士会館がお届けしている大人気企画
第3弾が早くも開催決定!

前回の開催ではお申し込みが殺到しました。ご
希望の方は、お早めにお申し込みください。



前回の会場の様子

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyoun@gakushikai.or.jp

報告 学士会主催



第7回女性会開催報告

[場 所] 学士会館

2015年12月5日(土) 14:00～17:00

「2016年は“手作り”で迎えませんか?～お正月飾り制作教室～」

飾りの型(しめ縄や置き型)3種類、
メインの花の色5種類の中から、好き
なものを選択して、お正月飾りを作
成しました。

型や材料は一緒でも、作成者によっ
て全く違う、世界に一つだけの飾り
を完成させることができました。



告知 学士会主催



第8回女性会

10:00～講座
12:30～ランチ(希望制)

[場 所] 学士会館

[参加費] 6,000円(ランチ代別途)

2016年4月9日(土)

「歩くことは生きること!～美姿勢&ウォーキング講座～(仮)」

姿勢や歩き方を意識することで、初対面の人への第一印象は劇的に変わります。見た目だけでなく、心身の健康も劇的にアップすること請け合いです。

お申し込み・詳細は、広報室まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00) MAIL: koho@gakushikai.or.jp

※女性会の開催は、女性会員の方にメールにてご案内しております。会員情報に、メールアドレスをぜひご登録ください。

報告 学士会・名古屋大学全学同窓会共催



名古屋講演会開催報告

[場 所] 名古屋大学 坂田・平田ホール

2015年12月8日(火) 16:00~19:00

「高速道路 ^{よもやま} 四方山話

～名神高速道路が全線開通して50年高速道路の過去・現在・未来～

宮池 克人氏

(中日本高速道路株式会社代表取締役社長 CEO /
中部電力株式会社顧問)

高速道路の歴史や事業、「ストック効果」の話、安全な利用方法など多岐にわたる内容をお話いただきました。



学士会・学士会館共催

「親から始める子どものための良縁講座」

第2弾開催報告

[場 所]
学士会館

2015年12月13日(日) 14:00~17:00

今回も申込受付開始後、あっという間に定員に達してしまった本企画は、講演会と“婚親会”(親同士で行うお見合い)の2部構成で開催しました。

お子様の良き伴侶を見つけるべく、参加者の、真剣かつ熱心な姿が印象的でした。



学士会主催

クリスマス家族会開催報告

[場 所] 学士会館

2015年12月19日(土) A組 12:00~15:00 B組 16:00~19:00

ぬいぐるみ人形劇こぐま座「三びきのこぶた」「クリスマスコンサート」

会館特製のクリスマスコース料理と楽しい催しで会員のご家族をお迎えしています。今回の催しには、人気のぬいぐるみ人形劇「こぐま座」が登場しました。会場内を縦横無尽に動き回る、可愛いらしいぬいぐるみ達に子どもたちは大喜び、身を乗り出して劇やコンサートに見入っていました。



食事の様子



催しの様子



遊べるキッズルーム



学生会・東京大学校友会共催

クリスマスパーティー 2015 開催報告 [場 所] 学生会館

2015年12月23日(水・祝) 15:30～18:00

学生会と東京大学校友会共催で、26才～34才までの独身会員を対象に開催しました。1対1で自己紹介をし合う“お見合いタイム”で、異性全員と話をします。その後の立食パーティーでは、ミニゲームを間に挟みながら、各自気になる相手と、より濃密なコミュニケーションをはかりました。結果、マッチングアンケートでは、4組のカップルが成立しました。

次回は7月中旬頃開催予定です。どうぞ、お楽しみに！



学生会主催

新年祝賀会開催報告

[場 所] 学生会館

2016年1月5日(火) 12:30～15:00

恒例行事である新年祝賀会、今年は「学生会 新春歌舞伎」と題して、歌舞伎企画「雅屋」の皆様、歌舞伎の舞をご披露いただきました。

圧巻だったのは、「春興鏡獅子」。会場後方の扉から登場した獅子の精に会場内の空気は一転、その迫力に観客は息をのみました。最後は多くの「みやびや！」の掛け声と拍手が会場から沸きおこり、しばらくの間鳴り止む事はありませんでした。



賀宴の様子



出演者との写真撮影



春興鏡獅子



学生会主催

平成28年新春講演会開催報告

[場 所] 学生会館

2016年1月8日(金) 19:30～21:30

「世界を照らすLED」 天野 浩氏 (名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センターセンター長・教授)

詳細は、巻頭カラーページをご覧ください。



学士会主催 独身会員交流企画
「若手都電ツアー」開催報告

[場 所] 都電荒川線車内

2016年1月30日(土) 13:25～15:15

都電荒川線を丸ごと借り切り、交流とプチ旅行を満喫するツアーを、28才～45才の独身会員を対象に開催しました。

ツアー中に行われたクイズ大会と5分間お見合いで、参加者達は一気に打ち解け、それぞれが会話を楽しんでいました。



学士会館は、開館88周年を迎えます

学士会館は、学士会会員の「ホーム」として、関東大震災からの復興を願うシンボルとして、1928(昭和3)年5月20日に開館しました。

2.26事件での第14師団東京警備隊司令部の設置や戦中の空襲被害、戦後のGHQによる接収など、昭和激動の時代におこった数々の困難を乗り越えて、2016(平成28)年、88歳(米寿)の誕生日を迎えます。

学士会館の歴史は、学士会公式サイト、又は学士会館公式サイトをご覧ください。

URL <http://www.gakushikaikan.co.jp/>



2014年9月撮影



1928年5月撮影

報 告



ロケ・ニュース (2016年1月・2月)

学士会館でロケが行われ、1月・2月に放映された内容を抜粋してお知らせします。
 ※放映日時は変更になっている場合がございます。

◎WOWOW「連続ドラマ W メガバンク最終決戦」
 / 2月14日(日) 22:00～

[ロケ場所] 301号室、302号室

◎TBSテレビ「金曜ドラマ わたしを離さないで」
 / 2月5日(金) 22:00～

[ロケ場所] 2階北側階段(新館側)



七大学書籍ランキング BEST 5

期間：2016年1月1日～2016年1月31日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 残り全部バケーション	伊坂幸太郎	新潮社
	2 文系学部解体	室井尚	KADOKAWA
	3 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上春樹	文藝春秋
	4 蘇我氏の古代	吉村武彦	岩波書店
	5 戦略がすべて	瀧本哲史	新潮社
一般書	1 就職四季報 2017年度版	東洋経済新報社(編)	東洋経済新報社
	2 危機に立つ国立大学	光本滋	クロスカルチャー出版
	3 会社四季報業界地図 2016年版	東洋経済新報社(編)	東洋経済新報社
	4 北海道の守り方	久田徳二	寿郎社
	5 アイヌと縄文人の骨学的研究	百々幸雄	東北大学出版会

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 文系学部解体	室井尚	KADOKAWA
	2 意思決定と合理性	ハーバート・アレクサンダー・サイモン	筑摩書房
	3 世界システム論講義	川北稔	筑摩書房
	4 プラグマティズム入門	伊藤邦武	筑摩書房
	5 中世社会のはじまり	五味文彦	岩波書店
一般書	1 就職四季報 2017年度版	東洋経済新報社(編)	東洋経済新報社
	2 公務員試験 受験ジャーナル 28年度試験対応 Vol. 3	受験ジャーナル編集部(編)	実務教育出版
	3 公務員試験 受験ジャーナル 28年度試験対応 Vol. 2	受験ジャーナル編集部(編)	実務教育出版
	4 新TOEIC TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	5 公務員試験学習スタートブック 28年度試験対応	受験ジャーナル編集部(編)	実務教育出版

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 大人のためのメディア論講義	石田英敬	筑摩書房
	2 研究者としてうまくやっていくには	長谷川修司	講談社
	3 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上春樹	文藝春秋
	4 東京大学第二工学部	中野明	祥伝社
	5 望郷	湊かなえ	文藝春秋
一般書	1 就職四季報 2017年版	東洋経済新報社(編)	東洋経済新報社
	2 会社四季報業界地図 2016年版	東洋経済新報社(編)	東洋経済新報社
	3 深層学習(機械学習プロフェッショナルシリーズ)	岡谷貴之	講談社
	4 21世紀の不平等	アンソニー・B・アトキンソン	東洋経済新報社
	5 東大駒場寮物語	松本博文	KADOKAWA

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 天野先生の「青色LEDの世界」	天野浩、福田大展	講談社
	2 南海トラフ地震	山岡耕春	岩波書店
	3 恐怖の哲学	戸田山和久	NHK 出版
	4 研究者としてうまくやっていくには	長谷川修司	講談社
	5 今すぐ中国人と友達になり、恋人になり、中国で人生を変える本	井上純一	講談社
一般書	1 就職四季報 2017 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	2 会社四季報業界地図 2016 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	3 業物語	西尾維新	講談社
	4 就職四季報 女子版 2017 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	5 新 TOEIC TEST 出る単特急金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 戦略がすべて	瀧本哲史	新潮社
	2 プラグマティズム入門	伊藤邦武	筑摩書房
	3 京大式おもろい勉強法	山極寿一	朝日新聞出版
	4 世界システム論講義	川北稔	筑摩書房
	5 研究者としてうまくやっていくには	長谷川修司	講談社
一般書	1 業物語	西尾維新	講談社
	2 TOEIC テスト新公式問題集 vol. 6	Educational Testing	国際ビジネスコミュニケーション協会
	3 TOEIC テスト究極の模試 600 問	ヒロ前田	アルク
	4 京都手帖 2016	光村推古書院	光村推古書院
	5 深層学習	神島敏弘 (編)	近代科学社

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ストーリー・セラー	有川浩	幻冬舎
	2 中世社会のはじまり	五味文彦	岩波書店
	3 世界システム論講義	川北稔	筑摩書房
	4 銃・病原菌・鉄 (下)	ジャレド・ダイヤモンド	草思社
	5 残り全部パッケージ	伊坂幸太郎	集英社
一般書	1 業物語	西尾維新	講談社
	2 どんどん話するための瞬間英作文トレーニング	森沢洋介	ベレ出版
	3 孤独のグルメ 2	久住昌之、谷口ジロー	扶桑社
	4 私の 1960 年代	山本義隆	金曜日
	5 自分の小さな「箱」から脱出する方法	アービンジャー・インスティテュート	大和書房

九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 新・韓国現代史	文京洙	岩波書店
	2 世界システム論講義	川北稔	筑摩書房
	3 プラグマティズム入門	伊藤邦武	筑摩書房
	4 意思決定と合理性	ハーバート・アレクサンダー・サイモン	筑摩書房
	5 中世社会のはじまり	五味文彦	岩波書店
一般書	1 就職四季報 2017 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	2 就職四季報 女子版 2017 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社
	3 憲法誕生	新井政美	河出書房新社
	4 タネをまく縄文人	小畑弘己	吉川弘文館
	5 会社四季報業界地図 2016 年版	東洋経済新報社 (編)	東洋経済新報社

編 集 委 員 コ ラ ム

東日本大震災から5年になる。ご存知のように、日本列島は太平洋プレートが3つのプレートの下に沈み込むという異常な構造の上に存在する。また、日本列島には地球表面の1%にも満たない領域に全世界の7%もの活火山が集中しており、専門家によるといつ巨大噴火が起きても何の不思議もない状況だそう。事前復興という言葉がある。近い将来壊滅的な被害に遭うことが分かっているなら、それを前提に、事前に復興計画を立てる、あるいは計画を立てるだけでなく実際に計画を進めるという意味だ。私たちの世代が被害を免れると、次の世代が被害に遭う確率が上がる。自戒の念も含めて、ひとりひとりが災害列島に住むという覚悟と構えが必要である。(編集委員：佐藤千恵子)

『NU7』はイベントや交流会など七大学の交流促進の為に情報も増えて内容も一段と面白くなった。それでも尚、どのくらい学士会の魅力が、未会員の皆さんに知られているか？ SNSなどのネット上での交流が可能になった今日、いわゆる同窓会は縮小傾向にある。そうした中、七大学卒業生で結ぶ学士会の意義は大きい。ネットとの大きな違いは学士会には現実の場があり、現実のヒトとモノのふれあいがあるということである。七大学という共通のベースを持ちえた者たちが知り合え、交流し合える場がある。趣味の会から専門分野の講演会やら、グルメやビアパーティなど、様々な出会いがあり、現実的で確かな、そして最も信頼できるハイグレードな社交の場である。ノブレス・オブリージュの精神を持つ、硬質でアカデミックな会合から、華やかなで楽しい開かれた会合まで様々なイベントがある。「なんか楽しそう」というようなノリでも学士会を活用してほしい。

(編集委員：田村恵美子)

学士会には定期刊物物として明治20年から刊行されている『學士會會報』がある。会報は歴史を踏まえた品格と品質高い構成・内容となっており、非常に読み応えのあるものとなっている。対して『NU7』は、既存のあり方に拘らず七大学の情報を気軽にさっと読める内容となっている(筈)。

『NU7』は会員のみならず様々な場所で無料配布しており、七大学及び学士会の魅力が伝わるように工夫をしている。近くの方にお配りしていただくことも想定しており、是非広めて欲しい。

(編集委員：吉積礼敏)

NU7 第4号

2016年 3月1日 発行

編集兼
発行人

南原 晃

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL：03-3292-5930

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp

e-mail：nuseven@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷

線状の降水帯が大阪北部にかかり、西から東に進行

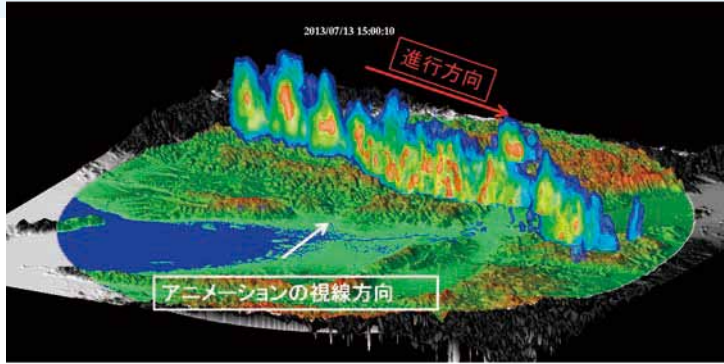
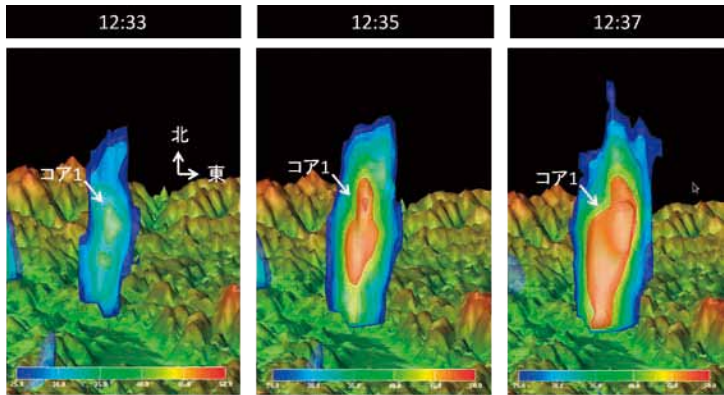


図1 事例：2013年7月13日

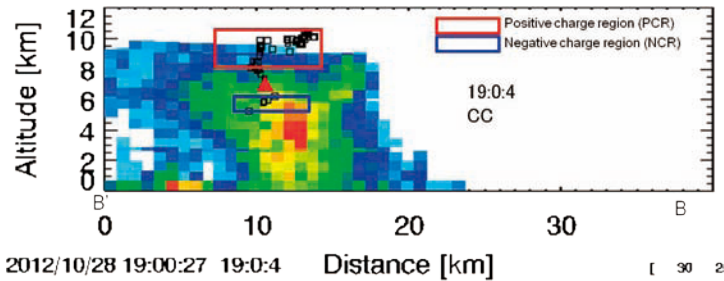
By Yoshida (MEC)



上空で発生した積乱雲(コア1)が急速に発達

図2 事例：2014年9月11日

By Yoshida (MEC)



2012/10/28 19:00:27 19:0:4 Distance [km] [30 2

- The altitude of initiation is 7km and above the core
- Most sources are located 10 km in altitude
- Some sources are located below the initiation

by S. Yoshida (MRI)

図3 3D locations

学士会の活動・サービス一覧

七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大戰）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学との共催イベント ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

七大学関連団体との連携

- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・お互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会会合の支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『会員氏名録』『NU7』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行 / 読者プレゼントあり）
- ・学生会館会員専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供などの特典）
- ・引っ越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター / セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金（5万円）贈呈
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン（金の食器使用）利用の会員グループに食事券（5,000円）贈呈
- ・レストランでのディナー飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引（終身会員本人はランチも10%割引）
- ・レストランの個室料無料

88th
学士会館

学士会館は
開館88周年を
迎えました

春のご宴会プラン

2016 ▶▶▶
3/1(火) ~ 4/30(土)

春にふさわしいお料理を取りそろえました。歓迎会・送別会や謝恩会など、
様々な春のご宴会にピッタリなプランです

※写真はイメージです。

バラエティに富んだ
西洋料理プラン

¥6,000 お一人様
プラン(税込) 14品

旬の素材を使った
中国料理プラン

¥6,000 お一人様
プラン(税込) 14品

西洋料理と中国料理の
ミックスプラン

¥7,500 お一人様
プラン(税込) 16品

西洋料理・中国料理と
日本料理の特別プラン

¥9,000 お一人様
プラン(税込) 18品

◆20名様よりご予約承りますのでお気軽にご相談下さい。◆表示価格はすべて会場費・消費税・サービス料込みとなります。◆宴会場のご利用は2時間となります。

※食材の状況により、メニュー内容が変更になる場合がございます。 ※会場の指定はできませんので、予めご了承下さい。

学士会館

ご予約・お問い合わせ
TEL. 03-3292-5936 FAX. 03-3292-0882
http://www.gakushikaikan.co.jp/

●都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分
●東京メトロ東西線「竹橋」駅下車3a出口から徒歩5分
●東京駅「丸の内北口」から車で10分

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

学士会の紹介

学士会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学士会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。あれから130年。現在は、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。

※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費4,000円

※学部卒業後2年間は3,000円（学士会事業年度は4月1日～翌3月31日）。

※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

平成28年3月にご卒業・ご修了される
大学・大学院生をぜひご紹介ください。

主な会員サービス

最新情報をお届けする学士会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。
公式サイトよりご登録ください。



『學士會会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『學士會会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

最新号・バックナンバーの目次を、公式サイトに掲載中です！



學士會会報



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

3月～5月の講演会は、「政治とメディア」問題から、NHK大河ドラマで話題の「真田丸」、「認知症」最新知見についてまで、多種多様なテーマをご用意しました。

今すぐ本誌をチェックしてみてください！



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくのやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパナレッジ」の割引利用も大人気です！



「学士会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学士会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

学士会館は、5月20日に開館88周年を迎えます。これを記念し、様々なイベントを開催予定です。

入会をご希望の方は、学士会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学士会



入会に関するお問い合わせは学士会総務企画課まで /03-3292-5933（平日9時～17時）